

様式第1号

推薦書（大津市文化連盟表彰規定による該当する表彰種別に○印を）
 [市民文化賞・市民文化功労賞・市民文化奨励賞]

令和 7 年 月 日

大津市文化連盟会長
 音羽 菊寿寿殿

推薦者氏名 ㊟

団 体 名

住 所

電話

下記のとおり、大津市文化連盟表彰の候補者として推薦します
 記

候補者名 (団体名)	曾根 威彦	団体の場合 代表者名	
(設立年月日)	昭和19年3月5日	令和7年2月4日 ㊟ (年齢 80 歳) 80才まで 設立 (設立 年)	
(個人の場合) 所属団体名	市民合唱団コールライゼ		
住 所	大津市南郷ニ丁目17-10 電話 077-537-5113		
<p>経 歴</p> <p>昭和41年3月19日滋賀大学学芸学部小学校教員養成課程を卒業、同年4月1日滋賀県栗太郡瀬田町立上田上小学校教諭に採用。平成6年4月1日滋賀県高島町学校教育課長に着任。その後、滋賀県大津市立下阪本小学校長、滋賀県大津市立田上小学校長を歴任し、平成16年3月31日滋賀県大津市立藤尾小学校長として定年退職。昭和45年に市民合唱団コールライゼを創設し50年以上活動を続ける。 昭和59年には中国演奏旅行、昭和56年国体平成7年育樹祭などに携わり、滋賀の合唱音楽を支えた。</p>			
<p>受 賞 歴</p> <p>昭和61年11月11日 大津市教育委員会教育長より永年勤続者表彰を受ける。 平成 9年 6月 2日 滋賀県教育委員会教育長より永年勤続者表彰を受ける。 令和 7年 6月 6日 瑞宝双光章 授与</p>			
<p>最近の主な活動状況（できるだけくわしく）</p> <p>平成13年に藤尾小学校校長に着任、平成16年に退職を迎え、その後、自身が創設した合唱団の50周年記念音楽会で指揮を務めるなど、市民合唱団コールライゼ「顧問」として合唱音楽向上に、令和7年2月4日にご逝去になるまで支え続けられた。</p>			

功績調書（具体的かつ簡潔に記述してください。）

公立小学校教諭、滋賀大学附属小学校教諭、公立小学校教頭、高島町教育員会学校教育課長を経て、平成8年4月1日滋賀県大津市立下阪本小学校長に就任し、専門の音楽を生かし卒業式等の儀式の際、歌で祝福するなど音楽を通しての指導に尽力した。同時に、生徒指導事案にも真摯に向き合い、児童対応や保護者対応にも率先して取り組み、問題解決に尽力した。

平成10年4月1日滋賀県大津市立田上小学校長に着任し、様々な教育諸問題に情熱をもって取り組み、問題解決に向けて尽力した。また、音楽教育においては音楽会の歌唱指導を全学年にわたり指導に当たるなど熱心に取り組んだ。

平成13年4月1日滋賀県大津市立藤尾小学校長に着任し、音楽指導はもとより、学力向上に真正面から取り組み、山積している課題を分析し、学校全体の学力全般にわたる課題を解決しようと尽力した。

教員生涯を通じて、滋賀県小学校音楽研究会に参画し、音楽科教育の発展のため、教員への音楽研修の実施などを通して指導力を発揮し、びわ湖ホールでの近畿音楽研究大会の開催など多くの功績を残した。また、合唱団「市民合唱コールライゼ」を昭和41年に創設し、ライゼ憲章を掲げ、活動を途切れさせることなく50年以上に渡り合唱音楽文化の振興に寄与した。滋賀県合唱連盟の理事として活躍すると共に、大津市においては、大津市合唱連盟主催の合唱のつどい、フェスティバルには毎年出場し、大津市の合唱音楽振興に尽力した。市民合唱団コールライゼの音楽会は令和8年6月に50回を迎える。音楽会は設立当初、滋賀会館で開催、大津市民会館が完成して以降は併設の大津公民館を練習会場としながら、大ホールでの音楽会を開催。公民館活動にも積極的に協力するなど、大津市民文化の発展を願い活動を続けた。曾根威彦の意向により、音楽会では「滋賀（びわ湖）」を題材としているもの（青島広志作曲「みずうみの歌」玉井明作曲「湖に抱かれて」橋本祥路作曲「琵琶湖」天田繁「わたしは旅人」）を積極的に取り上げられた。それら楽曲の多くに、大津市の歴史や文化などが歌われ、曾根威彦氏の「大津市の魅力を音楽で伝えよう」の願いにより観客を魅了した。このことは、大津市の文化伝承に大きな影響を与えた。

教員として音楽文化の発展に寄与するだけではなく、大津市民文化に与えた影響と功績は現在でも大きい。

*その他、参考資料等がありましたら添付してください。